



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月7日
東

上場会社名 高圧ガス工業株式会社 上場取引所
 コード番号 4097 URL <http://www.koatsugas.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)竹内 弘幸
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員経理部長 (氏名)大北 隆行 (TEL)06-7711-2572
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	18,703	0.5	1,112	21.1	1,328	20.3	836	27.3
27年3月期第1四半期	18,593	3.2	918	△12.2	1,103	△8.8	656	7.7

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 847百万円(△20.6%) 27年3月期第1四半期 1,068百万円(26.2%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
28年3月期第1四半期	15.14	—	—	—
27年3月期第1四半期	11.89	—	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	76,178	61.8	47,990	61.8	—	—
27年3月期	77,197	60.4	47,533	60.4	—	—

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 47,104百万円 27年3月期 46,656百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
27年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00	—
28年3月期	—	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	7.00	—	7.00	14.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	39,000	2.5	2,000	5.3	2,300	6.3	1,400	6.8	25.19	—
通期	80,000	2.5	4,500	9.5	5,000	4.9	3,000	6.7	53.97	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期1Q	55,577,526株	27年3月期	55,577,526株
28年3月期1Q	359,087株	27年3月期	357,415株
28年3月期1Q	55,219,275株	27年3月期1Q	55,231,767株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、第1四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国経済などの海外景気に不透明要因があったものの、個人消費の改善や設備投資の持ち直しがみられるなど、緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような状況のもと、当第1四半期連結累計期間の売上高は187億3百万円（前年同期比0.5%増加）、営業利益は11億12百万円（前年同期比21.1%増加）、経常利益は13億28百万円（前年同期比20.3%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億36百万円（前年同期比27.3%増加）となりました。

当第1四半期連結累計期間における、セグメントの業績は、次のとおりであります。

① ガス事業

『溶解アセチレン』は、造船業界向けに需要が回復したものの、建設、橋梁など工事向けの需要が減少し、売上高は前年同期を下回りました。『その他工業ガス等』は、炭酸ガス、特殊ガスが新規需要先の獲得により増加しましたが、窒素が工事需要の減少により、また、LPガス等の石油系ガスは輸入価格の下落に伴い減少し、売上高は前年同期を下回りました。『溶接溶断関連機器』は、設備投資や工事需要が回復し、売上高は前年同期を上回りました。『容器』は、消火装置用容器が減少したものの、特殊容器の需要が増加し、売上高は前年同期を上回りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は139億69百万円（前年同期比1.2%増加）、営業利益は10億1百万円（前年同期比14.4%増加）となりました。

② 化成品事業

『接着剤』はペガールが、土木・建築用に一部需要を伸ばしたものの、塗料用が塗り替え需要の減少、粘着用が荷札用向けに減少し、シアノンの海外向けが、円安の影響、高機能品の市場開拓により増加しましたが、売上高は前年同期を下回りました。

『塗料』は、エアゾール製品の販売が増加したものの、昨年の消費増税に伴う駆け込み需要の影響による改修需要の低迷と春先の天候不順による工事の減少に伴い建築用塗料が減少し、売上高は前年同期を下回りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は44億59百万円（前年同期比3.1%減少）、営業利益は3億13百万円（前年同期比11.1%増加）となりました。

③ その他事業

鉄道及びバス事業向けのLSIカードの需要が増加し、また、海外向けに容器や光学機器の需要が増加し、売上高は前年同期を上回りました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2億74百万円（前年同期比43.9%増加）、営業利益は51百万円（前年同期比42.9%増加）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ10億19百万円減少して761億78百万円となりました。流動資産は、現金及び預金、売上債権の減少により前連結会計年度末に比べ11億67百万円減少し、421億43百万円となりました。固定資産は、有形固定資産の増加等により前連結会計年度末に比べ1億48百万円増加し、340億34百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ14億76百万円減少して281億87百万円となりました。流動負債は、支払手形及び買掛金、未払法人税等が減少したものの、1年内返済予定の長期借入金、の増加により前連結会計年度末に比べ5億72百万円増加し、246億36百万円となりました。固定負債は、1年内返済予定の長期借入金の減少等により前連結会計年度末に比べ20億49百万円減少し、35億50百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、利益剰余金、非支配株主持分の増加等により前連結会計年度末に比べ4億56百万円増加して479億90百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点におきましては、平成27年5月15日に発表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更等)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しています。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行なっています。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行なっています。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しています。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,839	14,462
受取手形及び売掛金	22,580	21,605
電子記録債権	1,017	1,091
商品及び製品	2,471	2,575
仕掛品	399	445
原材料及び貯蔵品	1,059	1,107
繰延税金資産	717	474
その他	339	484
貸倒引当金	△114	△104
流動資産合計	43,311	42,143
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,503	5,709
機械装置及び運搬具（純額）	2,582	2,816
土地	12,519	12,605
建設仮勘定	609	240
その他（純額）	915	912
有形固定資産合計	22,130	22,284
無形固定資産		
のれん	28	21
その他	399	388
無形固定資産合計	427	409
投資その他の資産		
投資有価証券	10,516	10,530
繰延税金資産	9	13
退職給付に係る資産	100	100
その他	771	781
貸倒引当金	△70	△84
投資その他の資産合計	11,327	11,341
固定資産合計	33,886	34,034
資産合計	77,197	76,178

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,645	10,105
電子記録債務	5,958	6,169
短期借入金	2,526	2,646
1年内返済予定の長期借入金	133	2,133
未払法人税等	891	228
賞与引当金	1,114	573
その他	2,793	2,780
流動負債合計	24,063	24,636
固定負債		
長期借入金	3,090	1,056
役員退職慰労引当金	43	29
繰延税金負債	1,729	1,724
その他	736	740
固定負債合計	5,600	3,550
負債合計	29,663	28,187
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,885	2,885
資本剰余金	2,776	2,777
利益剰余金	37,325	37,775
自己株式	△189	△190
株主資本合計	42,798	43,247
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,819	3,820
為替換算調整勘定	66	57
退職給付に係る調整累計額	△28	△21
その他の包括利益累計額合計	3,858	3,856
非支配株主持分	876	885
純資産合計	47,533	47,990
負債純資産合計	77,197	76,178

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	18,593	18,703
売上原価	13,452	13,437
売上総利益	5,140	5,266
販売費及び一般管理費	4,222	4,153
営業利益	918	1,112
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	68	82
受取手数料	33	35
その他	122	131
営業外収益合計	225	250
営業外費用		
支払利息	15	15
その他	25	20
営業外費用合計	41	35
経常利益	1,103	1,328
特別利益		
負ののれん発生益	1	—
特別利益合計	1	—
特別損失		
投資有価証券評価損	29	—
ゴルフ会員権評価損	—	1
その他	0	—
特別損失合計	29	1
税金等調整前四半期純利益	1,075	1,326
法人税、住民税及び事業税	233	243
法人税等調整額	174	235
法人税等合計	408	478
四半期純利益	667	848
非支配株主に帰属する四半期純利益	10	11
親会社株主に帰属する四半期純利益	656	836

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益	667	848
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	428	1
為替換算調整勘定	△1	△8
退職給付に係る調整額	△25	6
その他の包括利益合計	400	0
四半期包括利益	1,068	847
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,049	835
非支配株主に係る四半期包括利益	18	12

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ガス事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,798	4,604	190	18,593	—	18,593
セグメント間の内部 営業収入又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	13,798	4,604	190	18,593	—	18,593
セグメント利益	874	281	35	1,192	△273	918

(注) 1 セグメント利益の調整額△273百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ガス事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,969	4,459	274	18,703	—	18,703
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	13,969	4,459	274	18,703	—	18,703
セグメント利益	1,001	313	51	1,365	△252	1,112

(注) 1 セグメント利益の調整額△252百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。